

第1号議案 令和5年度事業報告及び令和5年度正味財産増減計算書・貸借対照表・財産目録・財務諸表に対する注記 承認の件

令和5年度 事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

【概況】

令和5年度は、侵攻、戦闘、武力衝突など世界情勢は不安定な状況が続き、様々な面で日本への影響が見られた。日本の経済においては日経平均株価が34年振りに更新するも、円安の影響により物価上昇に歯止めがかからず、加えて賃金相場も上昇するなど、企業として厳しい状況が続いている。加えて、能登半島地震など予期せぬ自然災害の発生により、私たちの予測を上回る変化が起こっている。

他方、コロナ感染症に関しては、ウィズコロナからアフターコロナへの移行は道半ばにあり、行動制限の緩和によりコロナ禍前の状態に戻りつつあるものの、3年間で変わった生活様式はある程度定着しており、柔軟性と更なる対応力が求められている。

このような中であっても、私たち法人会は、本来の目的である「税のオピニオンリーダー」として、税の正しい知識の普及、次世代経営者への租税教育、地域社会に根差した社会貢献活動を会員が一丸となって実施してきた。

実施事業の中で特に充実した事業は「租税教室」であり、20校で35授業を実施し、述べ1,399人の児童に対して「税の大切さ」や「税の仕組み」の学びに貢献することが出来た。実施にあたっては、青年部会を主としつつ、菊池の強みである「女性部会」、「親会」の支援（連携）により短期間で活動が計画通りに実施出来た。また、税に関する絵はがきコンクールについて、税に関する作品表彰に加えることができ、税に関する絵はがきを各市町に展示するなどステータス向上に繋げることが出来た。

その他、委員会の連携（組織・厚生）（事業研修・広報）により事業の充実が図れ、各支部事業も積極的な活動を展開したことで組織の活性化に繋がっている。

なお、当初計画していた事業「チャリティゴルフ、花苗寄付事業、お手玉Xmasリース寄付事業、献血事業（2回）、各種研修会」など計画どおり実施した。

【事業報告】

○組織基盤の充実

純増5社（入会19社、退会14社）であった。

退会は昨年18社より4社少ない14社、退会14社のうち半数以上が廃業や解散、合併等による不可抗力である。全体的に退会が減少傾向となっているのは、会員向け事業の充実が図れている事、各支部の活動（慰留対応等）が影響しているものと認識している。

入会は19社のうち受託保険会社紹介が半数を上回る10社であり、依然として受託保険会社の協力が大きい。他方、役員勧誘活動においては、役員一人1社のアプローチを掲げているものの結果に結びついている事例は少ない。

|      |         |      |     |                    |
|------|---------|------|-----|--------------------|
| 令和3年 | 12月末会員数 | 808社 | 加入率 | 33.8%（対象法人数2,392社） |
| 令和4年 | 12月末会員数 | 809社 | 加入率 | 32.3%（対象法人数2,506社） |
| 令和5年 | 12月末会員数 | 814社 | 加入率 | 31.1%（対象法人数2,615社） |

注) 上記数字は正会員（法人会員）のみ

※支部別会員数

(令和5年12月末現在)

| 支部   | 菊池支部  | 大津支部  | 菊陽支部  | 合志支部  | 計     |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 法人数  | 840社  | 574社  | 517社  | 684社  | 2615社 |
| 会員数  | 287社  | 160社  | 182社  | 185社  | 814社  |
| 加入率% | 34.2% | 27.9% | 35.2% | 27.0% | 31.1% |

## (1) 税知識の普及を目的とする事業（公益事業1）

### ①新設法人説明会（実施）

前年度（令和4年度）に菊池法人会管内で新設された法人を対象に菊池税務署、菊池法人会連名で案内を行い、菊池税務署統括国税調査官を講師として法人税の留意事項等の説明会を実施した。  
(21社27名参加)

### ②税の啓発及び広報活動（実施）

大津町「からいもフェスティバル」に参画し、「税金クイズ」「税金的当てゲーム」「税に関するチラシ配布」等の啓発活動を実施した。

### ③租税教室（実施）

菊池市8校（隈府小、菊池北小、戸崎小、菊之池小、花房小、泗水西小、泗水東小、旭志小）、菊陽町2校（菊陽中部小、武蔵ヶ丘北小）、大津町4校（室小、美咲野小、大津南小、大津東小）、合志市6校（西合志中央小、西合志第一小、西合志東小、合志南小、合志楓の森小、南ヶ丘小）、計20校1,399人の児童に対して延べ35回の授業を実施した。講師は延べ「青年部会24名」、「女性部会6名」、「親会5名」が担当した。

また、毎年8月に実施している菊池税務署と竜門ダム見学会は、児童養護施設である「熊本天使園」の児童及び生徒（小学校4年生～中学生）16名を招いて、税務署における租税教室の受講及び税務署見学（仕事内容や職員の皆さんが働いている様子）を行い、その後、税の使われ方として竜門ダムを見学し、ダムの果たす役割と重要性を学んだ。

### ④青年・女性部会合同税務研修会（実施）

12月に原口菊池税務署長の講話及び中学校向けの租税教室の研修会を実施した。

### ⑤広報誌の設置拡大（実施）

8月末発行分から広報誌「もやいNo54」を4市町の金融機関全店に設置し、持ち帰り可能な状態で一般の方々に情報提供を行った。一部行政施設（大津町役場）にも設置した。

## (2) 納税意識の高揚を目的とする事業（公益事業1）

### ①税に関する絵はがきコンクール（実施）

租税教室で学んだ児童に対して、復習の位置付けを明確化させ「税に関する絵はがき」を描いてコンクールに応募した。885作品が集まり、1作品を菊池税務署長賞、142作品を菊池法人会女性部会長賞（うち県連賞8作品は重複）として表彰した。

### ②税の作品展示・表彰（実施）

税務協力団体長連絡協議会のメンバーとして参加し、優れた作品を「菊池法人会長賞」として表彰した。更に、税に関する絵はがきを加えて頂き、各市町の指定場所において143作品を展示した。

### ③地域イベント税金クイズ（実施）

11月に開催される大津町「からいもフェスティバル」に参加し、法人会ブースを設け「税金クイズ」「税金的当てゲーム」「資料配布」を実施し、税の正しい知識の啓発を行った。

## （3）税制及び税務に関する提言に関する事業（公益事業1）

### ①税制改正要望（実施）

当会の税制委員会で令和6年度の税制改正に関する要望事項を検討し、県連を通して全法連へ提出した。全法連で集約された要望事項は、全国大会（税制改正要望大会）で決議された後、国、県、市町村等へ要望書として提出された。当会も11月に菊池市長、菊池市市議会議長、国会議員へ要望書を提出した。

### ②全国青年の集い（実施）

11月の山形大会は予定どおりに実施され、当会から4名が参加した。

### ③全国女性フォーラム（実施）

4月の愛媛大会は予定どおり実施され、当会から4名が参加した。

## （4）地域社会への貢献を目的とする事業（公益事業2）

### ①献血事業（実施）

11月と3月の2回旭志道の駅で開催し、延べ161名の方々に参加頂き、延べ144名の献血を実施した。

### ②寄付事業（実施）

手作りのお手玉180個、手作りのクリスマスリース12個を菊池市の「菊池さくら保育園」へ寄付した。また、会員から提供頂くこととしていた物品については、提供できる数量に届かず、次年度へ移行した。

### ③河川等清掃事業（見送り）

河川等清掃事業については、河川における事故リスクを考慮し、清掃場所の検討を重ねてきたが実施に至らなかった。今後は、SDGsを踏まえた環境保全（美化）に資する最適な場所を選定のうえ開催する。

他方、菊陽支部が開催している「杉並木クリーン作戦」は夏祭り催事後に開催するなど、効果的な事業に進化している。（祭り翌日の早朝より）

### ④地域環境整備事業（実施）

当法人会管内（菊池市、合志市、大津町、菊陽町）の小学校（31校）へ、3,720鉢の花苗（パンジー・さくら草）を青年部会員が配布した。また、青年部会員が24台の手作り木製プランターを製作し、花苗と一緒に希望する小学校へ配布した。

## （5）会員の支援に資するための事業

### ①公開講演会（実施）

5月の総会後に熊本日新聞社大津総局の小林総局長を講師に招き「心に響く情報発信」をテーマにSNSによる情報発信のみならず活字による伝え方など情報発信の考え方などを学んだ。また、開催を予定していた秋の公開講演会は、総会において要望された「情報提供及び意見集約会の開催」に変更し、関連な会とすべく各支部にて対応するよう軌道修正した。

これを受けて、支部において意見交換会を開催し、会員の要望をヒアリングすると共に研修会を含めて情報の提供を行った。

#### ② 研修会（実施）

6月に大津支部、7月に菊池支部、菊陽支部にて事業報告会と併せて研修会を開催した。

その他、菊池支部において「日田ビール工場、薫長酒造の視察研修」「安全運転管理研修」、菊陽支部で「地元である阿蘇くまもと空港視察研修」、女性部会で「めんたいランド佐賀工場視察研修」を実施した。

#### ② チャリティゴルフ大会（実施）

9月に熊本空港 CC にて73名が参加しチャリティゴルフを実施した。チャリティ益金は合志支部が担当となって合志市の「(株)サンテル（天空のこどもたち）」と「(一社)ひかる（児童発達支援事業）」に希望の物品を購入し3月に寄付した。

### （6）会員の福利厚生等に関する事業

#### ① 福利厚生における会員支援（実施）

大同生命保険(株)、A I G損害保険(株)、アフラック生命保険(株)の3社と福利厚生制度の推進に係るすり合わせを実施し、会員企業の備えに対する支援を行った。

また、会報誌「もやい」により「会員が知って得する保険情報」を継続して掲載した。更に、情報誌等会員向け案内や郵送時にチラシを同封するなど情報提供を行った。

※各研修会の場に受託会社を案内し、説明やチラシ配布等会員に有用な情報提供に努めた。